



# 子どもの疑問に答えて 子どもを伸ばそう！！



## なぜ途中で辞めることが良くないのか、考えたことがありますか？

学校と同じで、始めた事を途中で辞めると言う事は学校を中退する事と変わりません。  
 「学業と習い事は違う！」と思う方もいらっしゃいますが、実際は何も変わりません。  
 イトマンも水泳技術を学びながら、集団の中で社会性・ルールなどを学んでいきます。  
 何事も“やると決めた事”や“1級合格卒業すると決めた事”は最後まで行う事が非常に大切です。  
 「辛いな～」「辞めたいな～」とお子様があった時、「辞めていいよ」と言うのは  
 お子様に「この壁は乗り越えなくてもいいよ。諦めな。」と言って何事もすぐに諦める心を教えているという事です。  
 私達は、すぐに「無理」と言って“諦める心”を持ったお子様ではなく「絶対出来るようになる！」と  
 “諦めない心”を持ったお子様に育てて頂きたいと思っています。  
 イトマンと保護者の方々に、強い心を持ったお子様に成長するようにサポートしていきましょう。



## 「どうして勉強するの？」

子どもの疑問に、どう答えますか？



嫌いな教科を「勉強しなさい！」と言われて子どもが反発するのは当たり前。なんでやるのか分からないままに  
 「やれ」と言うだけでは子どもの心には全く響きません。  
 子どもの『どうして勉強するの？』という疑問にきちんと答えてあげることが大切です。  
 1年生～3年生で「どうして勉強するの？」と考える子は少ないです。  
 それはまだ学力差も小さく、みんながやったらやっただけできるようになるから。それが3年生～4年生になると  
 他人と差がつく苦手教科というのができてきます。  
 実は『どうして？』と考えるのは、ちょっとつまづいてしまっている子どものサインでもあります。  
 『どうして勉強するの？』と聞かれたとき、多くのお父さん、お母さんが子どもだからと嘸み砕いて  
 真面目に話そうとするために上手く答えられなくなります。そんなときはきちんと現実を教えてあげましょう。  
 例えば...



### ★「お母さんはね・・・」と答えてくれることが子どもは一番嬉しい

自分が「勉強していてよかった」と思った瞬間、「勉強しておけばよかった」と思った瞬間などを教えるのも良いですね。  
 たとえその全てに納得できなくても、「お母さんは、こう思っている」とじっくり考えて、丁寧に伝えると子どもは  
 嬉しくなるでしょう。どんな素晴らしい回答を返すかよりも、信頼している人が「私の場合はね・・・」と自分の経験をもとにしっかりと答えてくれることが何よりも意味があるのです。



## 1級合格を達成したお子さまは強い心を手にします！！

